

リニューアルオープン記念 特別展

～ 谷崎、阪神間へ・100年の一步～
2023年4月15日(土)～9月10日(日)

新文豪

The Birth of The Master

ロビーパネル展

4月15日(土)～7月2日(日)

関東大震災後、命からがら逃れてきた谷崎が、最初にたどりついた芦屋。最期の妻ともなる「運命の女性」松子夫人との同棲を始めた芦屋。芦屋と谷崎との縁は深く、名作「細雪」の舞台に選んだのも、その愛着の表れだろうか。文豪が足を運び、眼に映しもしたことだろう、昔日の芦屋の風景をご覧ください。



芦屋本通り商店街 1937(昭和12)年頃

特別展関連講座

◆前期：学芸員が語る特別展

5月28日(日)

「文豪新生

～谷崎、阪神間へ・100年の一步～

講師：井上勝博(当館学芸員)

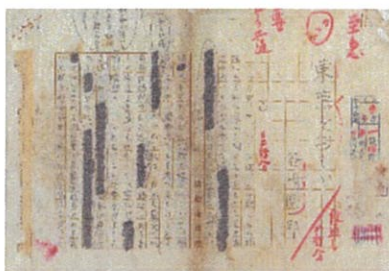
●時間／午後2時～3時

●場所／当館講義室

●定員／20名(要予約)

●持ち物／筆記用具

※入場料のみで受講いただけます



「東京をおもう」原稿(前期展示)

◆後期：学芸員が語る特別展

8月予定

『関西移住100年と痴人の愛』

講師：永井敦子(当館学芸員)

●時間／午後2時～3時

●場所／当館講義室

●定員／20名(要予約)

●持ち物／筆記用具

※入場料のみで受講いただけます



『女性』プラトン社・大正13年(後期展示)

つながる文学講座(隔月開催予定)

◆4月29日(土) 地域と文学 ～「火垂るの墓」の阪神間～

講師：横濱雄二氏(甲南女子大学教授)

◆6月17日(土) 声と文学 ～最晩年の宮沢賢治～

講師：信時哲郎氏(甲南女子大学教授)

◆8月27日(日) 恋愛と文学 ～夏目漱石が描く恋愛と非恋愛～

講師：飯田祐子氏(名古屋大学大学院教授)

※以降の講座につきましてはHPでご案内いたします。

●参加費／1,000円(観覧料込)

●時間／午後2時～3時30分

●場所／当館講義室

●定員／30名(要予約)

東京に生れた谷崎潤一郎は、大正12(1923)年の関東大震災を逃れ、阪神間へ移住する。このことが、作家としての大きな転機となった。阪神間・関西の歴史文化の影響をうけて、谷崎は大文豪へと開花していく。関東大震災から100年の今年、阪神間への旅立ちから始まった、作家谷崎の文豪としての新たな誕生の様相を展示し、リニューアルオープンを迎える。芦屋市谷崎潤一郎記念館の「新生」をも記念する。

芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 TEL.0797(23)5852 FAX.0797(38)3244

E-mail:ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp ホームページ:https://www.tanizakikan.com